

こんにちは！日本共産党京都市会議員

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2025年11月①号

北大路駅のバリアフリー調査

視覚障害者のグループの方が、北大路駅（北区）を調査するとのことで同行させていただきました。北大路駅は地下鉄とバスターミナルがあり、視覚障害者の方にとっては移動しにくい駅とのこと。一緒に歩いてみてそう実感しました。視覚障害者の方にとっては黄色の点字ブロックを頼りに歩くわけですが、細かく貼りすぎると、車いすの方にとっては、段差が多くなり、移動しにくいそうです。

中途失明の方の場合、必ずしも、点字が読めるわけではありません。「案内掲示板はここにあります」とアナウンスが流れても、ざわざわしていると聞こえにくく、たどり着いても、点字板は点字がわかる人でも、わかりにくいとのことでした。

エレベーターの位置や券売機にたどり着くにも、大変そうでした。障害者手帳があっても、一人で乗車する場合は運賃を支払わなくてはならないとのこと。（宇治市の方）



点字ブロックまでの誘導案内掲示板がなく、案内掲示があまり聞き取れない。しかも、点字板を読み取るのは難しいとのこと。



案内掲示があまり聞き取れない。しかも、点字板を読み取るのは難しいとのこと。

全員制中学校給食のあり方

巨大給食センター工場がいいのか！

全員制の中学校給食の実現に向けての運動は、30年以上前から取り組んでこられました。共産党は当時より議会で取り上げてきました。しかし、当時は市長も、他の会派の議員も多くが、「愛情弁当論」を掲げ、選択制給食が始まり、京都市は選択制給食がベストだという立場で、今まで続けてきました。

しかし、教育委員会がおこなった、アンケートでは、給食を申し込まず、食べない生徒もいることがわかり、議会での答弁で、年月の議会で全員制の中学校給食にやっと取り組む方針を示しました。そこで、小学校のように学校調理方式で、できるところから実施すべきと質したが、南区の塔南高校跡地を利用して建てるとしています。48校、22,000食を巨大給食センターで作り、トラックで57台が学校に運びます。そして、詳しくはこれからです。13校分（西賀茂中やかも川中などは、民間の調理場2か所を委託し、給食センターと同じ仕様で改装するとしています。給食の開始はR10年8月の予定です。

すでに、小中一貫校校は中学生も自校調理方式で食べています。できるところから、実施することが大事だと思います。

つぶやき：自公政権→自維政権に？！

「一緒にやっていくなんて不可能に決まっていますよ」と先の総選挙、日本維新の会はそんな主張を発信。自民党の政治とカネの向き合い方について「裏切りだらけ」とまで。吉村代表も昨年、与党入りしたら維新は消滅する、存在意義がなくなると発言。政策実現のために与党入りする必要はないと強調していたのに、これぞ二枚舌か……。

自民党政治を変えようと言っていたのではなかったのか……。確かに4兆円の医療費削減計画は自民、公明、維新、参政党、国民民主も手を上げてましたね。困ったものです。

アンテナ 七五三とお宮参り

先日、孫の3歳の七五三と8月末に生まれた孫のお宮参りに行ってきました。娘のパートナーのお母さんが、着物の段取りや着付けもしてくれて、無事滞りなく、お参りできました。

信心はしていませんが、文化的な行事として、子どもや親にとっても、子どもの成長を願うひとときとなったと思います。しかし、パートナーのお母さんのおかげであり、私だけでは準備を含めできなかったと思います。

また、費用もかかりますし、誰でもが着物を着て、体験できるものでもないかとも思います。近所の美容室では3万円のレンタルで、着物、着付け、お参り、写真撮りがセットというポスターが貼ってありました。

日本の文化に触れる機会を誰でもが体験できるといいなと思いました。家庭によって体験できること、できないことがあるのは残念なことです。



